

2014年3月期 第3四半期 決算発表後 IR 活動での Q&A

Q：2014年の半導体製造装置、FPD製造装置の市場の予想は？

A：半導体製造装置は、メモリーの投資がけん引し、2013年に比べ数%から10%程度の成長を予想しています。

FPD製造装置は、中国での活発な投資を前提に、2013年に比べ数%の成長を予想しています。

Q：固定費に関して、現時点で想定される来期の見通しは？

A：今上期に実施していた給与カットの解除による人件費の増加に加え、さらなる成長のために研究開発費を増やす見通しです。

Q：半導体機器事業での変動費削減の進捗状況は？

A：2013年11月（第2四半期決算発表時）の想定通り、今期の通期変動費率は前期に比べ、3ポイント削減で推移しています。

来期におきましても変動費削減を継続して進めてまいります。

Q：半導体機器事業のコーターデベロッパーの状況は？

A：第3四半期に売上が大幅に増加し、収益改善が進みました。

Q：半導体機器事業の、第4四半期、来期の第1四半期の受注は、どのような見通しか？

A：第4四半期（1-3月）は、第3四半期と同水準が継続するものと予想しています。

第1四半期（4-6月）は、十分見通せている訳ではありませんが、一時的な踊り場の可能性はあります。ただし、投資に急ブレーキが掛かることはないと考えています。

Q：新規事業にライフサイエンスを掲げているが、ライフサイエンスのどの分野（方向性）か？

A：まずは、昨年(2013年)7月に3D細胞スキャナーをリリースしました。今後も、当社の保有技術である半導体のプロセス技術や画像処理技術などを応用展開させた同分野を考えています。

市場のニーズと当社のシーズ(種)をうまくマッチさせていきます。

以 上